



## 第2学期終業式(令和3年12月24日) 校長講話より

今日は2学期の終業式です。終業式は学校生活の節目、区切りになるものです。2学期の間の学習、活動、生活について振り返り、次の学期へと新たな気持ちで取り組むための大事な機会です。2学期は年度の中で一番長い期間です。学習についてはもちろんですが、9月末ごろからだんだんとコロナ感染者も落ち着いてきて、新しい形での文化祭、部活動、郊外での活動など、皆さんの活動や活躍の場がようやく広がってきました。また、3年生が進路活動にそれぞれ一生懸命に取り組み、現在も引き続き取り組んでいるところです。今日は2学期の生徒の皆さんの活動から少し紹介したいと思います。



まず現在進行形で、進路決定に向けて頑張っている3年生。9月から11月にかけて、就職試験や入学試験に向けての面接練習する機会がありました。その中で、その進路を目指した理由を尋ねた時に、「まわりの人を笑顔にしたいからです。」とか、「今までお世話になった方々に恩返しをしたいからです。」というような答えを、自分の言葉で語ってくれました。自分からこれから更に学んだり、社会に出たりした時に、自分のことだけでなく、自分がどうやって地域や社会に役に立つか、貢献できるか、ということを真剣に考え、思ってくれているということに、とても素晴らしいな、誇らしいな、立派だな、と思いました。1、2年生の皆さんもこのような、3年生の姿勢、視点を受け継いでほしいと思います。

また、11月には授業公開や学校説明会があり、多くの保護者、地域の方、中学生とその保護者が来校されました。その際に「生徒の皆さんが元気よくあいさつをしてくれて清々しい気持ちになりました」という言葉を複数いただきました。また、授業を御覧になった地域の方が休み時間に廊下の椅子に座られていた時に、「大丈夫ですか。」と気遣う言葉をかけてくれた生徒がいました。そのことについて「とてもうれしかった」という声もありました。来校者に対する敬愛の気持ち、思いやりの心を多くの方が発揮してくれました。

また、先日、生徒会の生徒が学校前の道に面したところに、来年開催される全国高等学校総合文化祭東京大会(とうきょう総文2022)の横断幕を掲げてくれたのですが、その時の大会の実行委員として、活動してくれている生徒もいます。10月に準備大会として大きな催しがありましたが、その開会式の時に、東京都の高校生の代表として他校の生徒とともに重要な役割を立派に果たしてくれました。のちほど表彰もありますが、本校の生徒それぞれが様々な活動を通して素晴らしい力を発揮してくれました。ここでは紹介しきれないほどまだまだありますが、引き続き皆さんの力を発揮して、学校や地域、全体を明るく活気づけてほしいと思います。

一方で残念なお話がありました。ある日池上駅のエスカレーターのところで大森高校の生徒が大勢で、大声でさわぎながら、エスカレーターを駆け上がったりして、周りの人が迷惑していると

いう連絡をいただきました。また、ある日は大森高校の生徒が自転車で、猛スピードを出して運転している。しかも耳にイヤホンをして、スマホをいじりながらの運転なので、近くにいる登校している小学生が怖い思いをしているという連絡がありました。どちらも迷惑をかけようとか、危ない目にあわせようという意図や悪気があったわけではないと思います。しかし、自分や自分たちのことしか考えていない行為で、自分以外の人はどう思うか、という視点をもてていないからだと思います。悪気がなければ迷惑をかけてよいことにはなりません。周りに本校の生徒がいて気づいて教えてあげたらよかったなとも思います。だれにも失敗や間違いはあります。注意された時には素直に「ごめんなさい」と言い、同じ間違いを繰り返さないことが大切です。このことについても生徒の皆さんにも気を留めてもらいたいと思います。

さて、令和3年も残りわずかとなりました。1年間の終わりというのも大きな区切りの一つです。1年を振り返り、新たな年を、希望をもって迎えたいと思います。繰り返しになりますが、新型コロナウイルス感染症の対策を緩めることなく、体調管理に気を連れて過ごしましょう。人が大勢いる所を避け、体調の悪い場合は外出を控えてください。もしも身近な人が新型コロナウイルス感染症にかかったり、自分がPCR検査などを受けたりした時には学校にも必ずご連絡ください。また、悩みごとや心配なことがあった場合は、先生方や周りの人に相談をしてください。それでは感染症対策を十分にしながら楽しい冬休みを過ごしてください。また1月11日の始業式で元気に会いましょう。

